

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成 25 年 1 月 18 日（金）

第 45 回（第 7 期第 3 回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子

- ・「第 45 回（第 7 期第 3 回）江東内部河川流域連絡会」を、午後 1 時 15 分から午後 3 時 30 分の約 2 時間 15 分、江戸川区小松川さくらホール・第 1 集会室にて開催しました。
- ・都民委員 18 名と行政委員 8 名が参加しました。 名簿は 6 ページ
- ・「東部低地帯の河川施設整備計画」の説明の後、行政委員及び都民委員からの情報提供が行われました。

議題及び情報提供

1. 行政委員（東京都）からの情報提供・話題提供

- ・東京都建設局河川部より、東日本大震災を受けて、平成 24 年 12 月に策定した「東部低地帯の河川施設整備計画」について説明があり、その後質疑応答が行われました。

(1) 東部低地帯で、これまで進めてきた対策

- ・東部低地帯においては、高潮防御施設整備事業及び江東内部河川整備事業、スーパー堤防等整備事業、耐震対策事業の河川事業を行ってきた。
- ・これまで進めてきた対策は、「伊勢湾台風に対応できる高さの堤防や水門等の整備」、「関東大震災時の震度に対応した耐震対策」で、これらの対策により一定の安全性を確保してきた。

(2) 東日本大震災の発生に伴い水門・堤防等の調査を実施

【耐震性】M8.2 の海溝型地震等に対する耐震性能を確認

水門等について、全ての施設で大きな損傷はないが、門柱等の損傷により水門が開閉できない可能性がある。

堤防・護岸では、調査地点の約 4 割で堤防の一部が損傷する可能性がある。

【耐水性】水門等の電気・機械設備で、堤防の損壊時等に伊勢湾台風級の高潮発生を想定し、高潮高に対する浸水状況を調査。

設備が高潮高より低い場所にある。

(3) 地震・津波に伴う水害対策の都の基本方針

- ・目標： M8.2 の海溝型地震等が発生した場合においても各施設が機能を保持し、津波等による浸水を防止するよう対策を実施する。

・考え方：

想定津波高に対しては、現行計画の堤防高で対応可能であり、堤防高は変更しない。

東京都防災会議が示したM8.2の海溝型地震等に対して、耐震強化を図る。

各施設の電気・機械設備への浸水を防ぐ。

(4) 東部低地帯の河川施設整備計画

目的：最大級の地震*が発生した場合においても、各施設が機能を維持し、津波等による進水を防止する。

計画期間：10 年間（平成 24 年度～平成 33 年度）

対策規模：防潮堤約 40 km、護岸約 46 km、水門 13 施設、排水機場 5 施設、樋門・閘門 3 施設、水門管理センター 1 施設

*将来にわたって考えられる最大級の地震



・各施設の耐震、耐水対策のイメージは次のとおり。

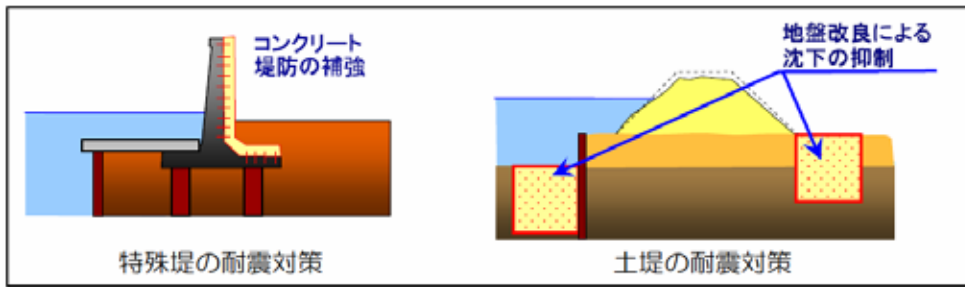


図 堤防の耐震対策イメージ

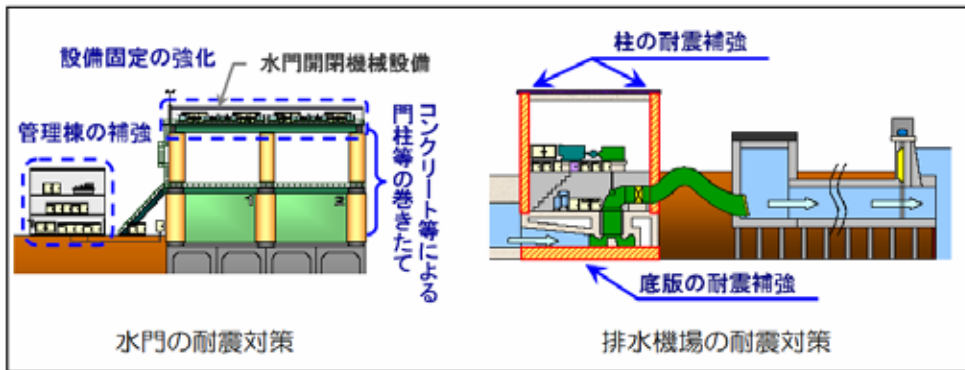


図 水門・排水機場等の耐震対策イメージ

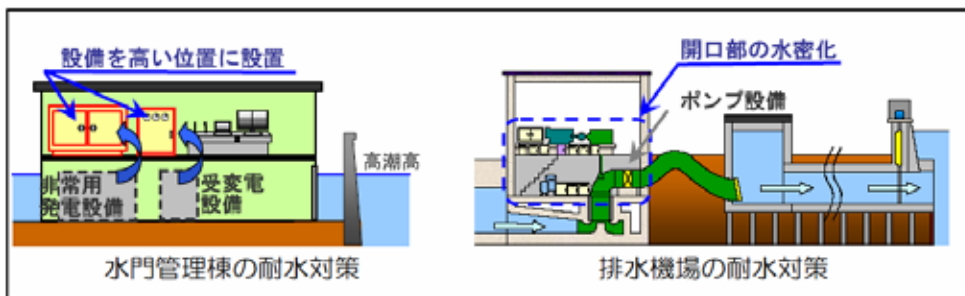


図 水門管理棟・排水機場等の耐水対策イメージ

【意見交換】

都民委員 行政委員

地震に伴う津波の被害想定について、地盤沈下は考慮されているのか。

地盤沈下の影響を考慮して、検討しています。

地震で水門が壊れた時に高潮がきた場合、どの程度浸水するのか。

海溝型の地震で水門が開放されている条件で、東京都防災会議で検討を行っている。川沿いの一部の地域で浸水する結果が示されている。

津波や高潮発生時に水門を自動で閉鎖できるのか。

東部低地帯の河川を水門管理センターで一元的に遠隔監視、制御を行っている。水門の閉鎖については、光ファイバーの二重ループ化による操作また無線による操作と多重化を行っている。

耐震対策について、危険な箇所から優先順位をつけて行うということだが、隅田川下流の一部に優先度の低い箇所があるのはなぜか。

川沿いの地盤高が比較的ほかよりも高く、堤防が損傷しても浸水が起こらないので、優先度が低くなる。

2. 都民委員からの情報提供・話題提供

(1) 横十間川整備事業について

- ・整備事業に伴い、住環境への影響が懸念されるので要望書を提出している。事業にあたっては、要望に配慮して整備を進めてほしいとの説明がありました。

(2) 「中川の左岸」について

- ・大正8年の地図を基に、当時の中川（現在の旧中川）の状況について報告がありました。両国と佐倉・成田を結ぶ元佐倉道に、明治12年に「逆井橋」が架けられました。逆井橋の東側には、明治11年に開庁した「南葛飾郡庁舎」がありました。江戸川区が誕生した昭和7年から戦災で焼失するまで、区役所は、南葛飾郡庁舎を使用していました。（下は江戸川区の設置と区役所の場所を示した「東京市」の告示）荒川放水路（現在の荒川）の開削工事が行われていて、通水する前なので、開削工事前に河道内にあった道路や河川（中川など）の状況が偲ばれます。

その後発令された文書

東京市告示 第三百六十一号	
市会の議事を経、新設区の区役所位置を当分の内、下の通定め昭和七年十月一日より開す。	
昭和七年九月三十日 東京市長 永田秀次郎	
区名	位置
江戸川区役所	南葛飾郡小松川三丁目四千六百三番地甲号・四千六百三番地甲号の内二号 四千六百四番地・四千六百四番地の一・四千六百五番地。

「江戸川区史 全」より

(3) 記念碑建設について（逆井の渡し跡記念碑、石田波郷 生誕百年記念碑）

- ・「逆井の渡し跡とあさくさ古道」が存在する亀戸の地元町会が中心となり、「逆井の渡し跡」の石碑と「亀戸あさくさ古道」の道標を設置したことについて、報告がありました。



- ・石田波郷は砂町ゆかりの俳人です。2013年「石田波郷生誕百年」にあたることから、「石田波郷生誕百年記念句碑」を設置し、3月に除幕式を行います。また、11月には、北砂緑道公園内に「小名木川駅跡と江東歳時記文学碑」を設置予定です。



（写真は、左右ともCG）

(4) カヌーによる防災訓練報告

- ・平成 24 年 3 月 11 日、亀戸 9 丁目町会が江東区カヌー協会の協力で実施した、洪水発生時におけるカヌーによる救助活動及び救援物資輸送等のミニ防災訓練・社会実験の取組みについて報告がありました。



3. 行政委員（区）からの情報提供・話題提供

(1) こうとうこどもカヌー大会 2013

- ・江東区から、旧中川で開催を予定しているこどもたちを対象としたカヌー大会について、説明がありました。

目 的	カヌー競技の継続的な活動の支援及び「水彩都市・江東」の魅力の発信、旧中川の活性化
主 催	江東区、江東区教育委員会
主 管	江東区カヌー協会
日 時	平成 25 年 8 月 11 日（日）9 時開会 16 時 30 分閉会予定
会 場	中川船番所資料館近く、川の駅開設場所
競技内容	200mカヌースプリント（全部別男女混合）、小 4、小 5、小 6 の各部
参加資格	小学校 4 ~ 6 年生（大会前に実施する事前講習会に必ず参加）

(2) 旧中川・川の駅事業について

- ・江東区から、水陸両用バスの運航事業許可及びにぎわい施設の営業開始にあわせて、旧中川・川の駅のオープニング式典及びにぎわいイベントを行う報告がありました。

日 時	オープニング式典 3 月 16 日（土）10 ~ 12 時 にぎわいイベント 3 月 16 日（土）12 ~ 16 時 3 月 17 日（日）10 ~ 16 時
場 所	旧中川・川の駅（旧中川水辺公園内）及び周辺水域
内 容	オープニング式典 テープカット、水陸両用バス進水セレモニー、水上パレード にぎわいイベント 和船、カヌー、水陸両用バスの乗船体験 にぎわい施設の運営 中川船番所の無料開放 リバーツアー、観光ボランティア、アーティストパフォーマンス、 青空市、出店

流域連絡会の今後の予定

今回は 3 月 15 日に、江東区東大島文化センターでの開催を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

座長

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	岩井 希義
		墨田区	小久保 健司
		墨田区	篠崎 哲夫
		墨田区(在勤)	正岡 久武
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	渡邊 晶子
		江戸川区	石田 正博
		江戸川区	大森 英一
		江戸川区	金子 蔵
		江戸川区	菅原 資子
		江戸川区	高野 祐子
		江戸川区	山内 久二
		江戸川区	吉田 誠一
	団 体	江東区カヌー協会	小宮 次夫
		江東区の水辺に親しむ会	須永 俣子
		和船友の会	根本 明洋
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫
		江戸川区ボート協会	渡辺 秀朗
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区 都市整備部 道路公園課長	田中 正明	
	江東区 土木部 水辺と緑の課長	高垣 克好	
	江戸川区 土木部 計画課長	立原 直正	
	東京都環境局 自然環境部 水環境課長	小林 幹明	
	東京都下水道局 東部第一下水道事務所 ポンプ施設課長	石黒 雅春	
	公益財団法人 東京都公園協会 水辺調整課長	園尾 学	
	東京都建設局 河川部 計画課長	舛原 邦明	
	東京都建設局 河川部 河川管理制度担当課長	若井 太郎	
	東京都第五建設事務所 管理課長	橋本 春彦	
	東京都江東治水事務所 内部河川工事課長	内野 祐彰	
東京都江東治水事務所 水門管理課長	北島 義文		

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：高木、木村

TEL：03-5875-1565

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp

